

# 創立40周年、地域のリハビリ拠点病院としての基盤を確立 多角的視点からサポートするスポーツメディカルセンター

医療法人回生会 リハビリテーションセンター 熊本回生会病院



▲上益城郡嘉島町の新病院。完成着やがて2年半になる

## 新病院建設から2年3カ月

総投資額28億円で新病院を建設、一昨年6月1日に開院した熊本回生会病院。回復期リハビリテーション機能の充実、心大血管リハビリテーションの受入れ体制強化、さらにスポーツ外傷への手術やアスリートのサポートを図る「スポーツメディカルセンター」の開設を目指した大規模リニューアルから2年3か月が経過した。この間、熊本地震も経験、地下の下水道管などの破損による被災などもあったが、診療業務は継続、約1か月間で全面復旧している。

昨年12月には隣接する駐車場に新築プロジェクトの最後を飾る別館が完成した。1階には居宅介護支援センターと訪問看護ステーション、加えて職員用保育園

を新設。2階には女子職員寮を設け、福利厚生充実を図っている。そして今年4月には創立40周年を迎え、名実共に熊本市南部地域、上益城郡地域のリハビリの拠点病院としての位置づけを確かなものとしつつある。

## 回復期リハの外來も倍増

高齢人口の増加を背景に、診療報酬の基準の変化への対応など、急性期の基幹病院を中心に入院日数の減少が顕著になっており、多くは在宅への流れへ移行している。療養型からの移行、その過程として回復期リハビリテーションの需要が高まっている。

同院も回復期リハの機能充実を目指し全面リニューアルを実施した。回復期リハは、365日リハビリを実施し、回復期各病棟には、中央



診療部長 鬼木 泰成



院長 大橋 浩太郎



理事長 鬼木 泰博

リハビリテーション室に加えて、病棟リハビリテーション室(4、5階)を設けて集中的にリハビリを行っている。また一般病棟よりもカンファレンスなどのチーム連携が充実しており、患者の退院先の地域ケアマネージャー、民生員、福祉機器業者などとの協力も得ながら、在宅や社会復帰の援助を積極的に進めている。外来・入院の実績に関しては、新病院開院前の平成26年度にリハビリ外来6542人だった

ものが、昨年度平成28年度には同外来が12850人と、2年間で実に倍増している。  
**スポーツ外来は、開設3年で5倍の3230人に**

新病院の特殊性として特筆できるのが熊本初のスポーツメディカルセンターの開設。新病院開院時から理事長の次男・鬼木泰成医師が熊本大学医学部附属病院整形外科医局長から同病院の診療部長に就任している。スポーツ外傷の中でも難しいとされる膝前十字靭帯損傷の再建手術など靭帯・軟骨などの最新手術で数多く実績をあげる県内でも屈指の整形外科専門医だ。

「当院のスポーツ外来では、ケガの手術・治療はもちろんです。ケガを繰り返さないための予防、さらにパフォーマンスの向上までを視野に入れた治療を行います。各個人のプログラムを作成し、トレーニング法や食事の指導などをトータルでサポートしていきます」と日本体育協会公認スポーツドクターでもある鬼木泰成診療



▲広々とした中央リハビリテーション室



▲熊本回生会病院には、熊本では数少ない疾病予防施設「メディフィット回生会」がある。医療の監視下で医療療法を行うフィットネスクラブで、若年から高齢者、健康者やアスリートから有疾患者まで幅広い層を対象に利用できる



▲プロバスケットチーム「熊本ヴォルターズ」のチームドクターを務める鬼木泰成診療部長

部長は熊本ヴォルターズのチームドクターも務め、プロのアスリートから、ジュニアの部活、シニアの生涯スポーツまで幅広く対応している。さらにメンタル面でも心理的競技能力診断(ディブカ)などを採用しながらデータに基づいた心理的サポートも行う。また、スポーツファーマシストを在中させ、ドレーピングのチェックやサプリメントなどの指導管理も徹底させている。

同センターでの外来の患者数も平成25年度の650人に対し、平成28年度は約5倍の3230人に及び、靭帯や軟骨などの最新手術の

実績も同年度には418症例を数えている。最近では右肘部分断裂を負った日本人メジャーリーガー投手の治療で話題となった最先端の治療法、自分の血液を使った再生医療のひとつ・自己多血小板血漿注入法(PRP療法・自由診療)も開始している。

スタッフに関しても、「例えば種目別の専任のリハビリスタッフがいれば、その種目を徹底的に研究し回復から再発防止、競技能力の向上へ導いていく。彼らは国体選手や学生競技者のトレーナーとしても活躍している人材です」と実践を共有しながら

ら日々、有効なトレーニング法を研究しているという。アスリートたちにはこの上ない環境のスポーツメディカルセンターとしての基盤が整っている。

40周年の節目を超えた今、大橋浩太郎院長は「創業以来のノウハウを培った回復期リハビリテーション、外傷からの予防・復帰をサポートするスポーツメディカルセンター、予防医学の観点から安心して利用していただけのメディフィット回生会を中心に、今後も地域の患者様へ確かな医療を提供していきたい」と意を新たにす

医療法人回生会  
リハビリテーションセンター  
**熊本回生会病院**

〒861-3193 熊本県上益城郡嘉島町1880  
TEL096-237-1133 FAX096-237-2252

**診療時間** 9:00~17:00(平日) 9:00~12:30(土曜日)

**休診日** 日曜・祝日

**病棟** 総病床数161床 一般病棟60床 回復期リハ病棟101床

**診療科目** リハビリテーション科、整形外科、内科、外科、循環器内科、神経内科、麻酔科(標榜医:宮本千里)、放射線科、リウマチ科、脳神経外科、歯科、口腔外科